

# 富山大学薬学部 学生後援会

## 平成 25 年度（第 16 回）総会報告書（抄）

平成 25 年 4 月 4 日（木）午後 1 時 30 分より  
富山大学杉谷キャンパス看護棟 2 階 22 講義室

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 新入生保護者の方へ（本学保健管理センター 酒井先生）
5. 議長選出
6. 議事
  - 6-1. 平成 24 年度事業報告 (p. 2)
  - 6-2. 平成 24 年度会計報告 (p. 10)  
監査報告 (p. 10)
  - 6-3. 新役員選出 (p. 11)
  - 6-4. 平成 25 年度事業予定（案）審議 (p. 12)
  - 6-5. 平成 25 年度予算（案）審議 (p. 15)
  - 6-6. 会則の改正（案）審議 (p. 16)
7. その他
  - 7-1. 学部生，大学院生の研究活動 (p. 18)
  - 7-2. 薬学部創立 120 周年記念事業について
8. 閉会

総会終了後，御質問・御要望などに関して自由討論

中谷後援会会長のご挨拶の後、副会長である今中薬学部長より、薬学部の現状（新入学者、講義や実習などの授業内容と取組み方、薬剤師国家試験、就職状況）と、薬学部創立 120 周年記念事業についてお話があった。また、保健管理センターの酒井先生から新入生の保護者の方へお話があった。その後、中谷会長が議長に選出され、中谷会長の議事進行により、総会が進行された。

## **6. 議事**

### **6-1. 平成 24 年度事業報告**

#### **1. 平成 24 年度（第 15 回）総会の報告**

平成 24 年 4 月 5 日、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 24 年度総会を看護棟 2 階 22 講義室において開催しました。新会員（新入学生保護者）の他、薬学部教員も多数出席して行われました。鍛冶後援会会長のご挨拶に引き続いて、今中薬学部長から薬学部の現状（薬剤師国家試験、就職活動など）についてお話がありました。また、保健管理センター杉谷支所 臨床心理士 酒井先生から、特に新入生の保護者の方にお話がありました。その後、鍛冶会長が議長に選出され審議に入り、平成 23 年度の事業報告と決算の承認、ついで 24 年度の正会員理事 38 名、教職員理事 9 名（TOEIC 講習補佐を含む）が承認されました。ついで、事業計画と予算の審議に入り、昨年度と同様に薬剤師国家試験対策と TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は 300 万円、課外活動援助は 70 万円とする等の提案が承認されました。

その後、学内理事により、薬学科 5, 6 年生を対象とした国家試験対策支援のスケジュール、及び TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援についての説明がありました。

総会終了後、自由討論を行い、保護者の方からのいくつかご質問を頂きました。研究室配属や薬学科 5, 6 年生でのカリキュラム、和漢医薬学総合研究所と薬学部との関連性などに関しての質問があり、今中薬学部長がご回答されました。

希望する保護者の方々に対し、学内理事が 3 つの班に分かれて講義・実習棟、薬学研究棟、新棟（模擬調剤薬局）、共同利用棟、附属図書館など順次案内しました。

## 6-1. 平成 24 年度事業報告 (続き)

学生後援会 課外教育では、薬剤師国家試験対策、TOEIC 対策および卒業論文発表会を主に支援しております。

### 2. 平成 24 年度活動報告

#### 課外教育 (国家試験対策)

薬学部 6 年制の新カリキュラム導入後の第二期生が 2012 年度に最終学年を迎え、2013 年 3 月 2 日、3 日に新卒 54 名(と既卒者)が国家試験を受験しました。今回の国家試験は、前回に比べて難易度が高い試験となりました(前回全国合格率: 88.31%, 今回全国合格率: 79.10%、今回本学合格率: 71.88%、詳細は略)。

2012 年度に学生後援会として、薬学科 6 年生向けに行った国家試験対策は次の通りです。

- ・ 5 月 29 日に薬学ゼミナールを招き、新国家試験に関する学生向けガイダンスを開きました。
- ・ 8 月、卒業研究の終了に合わせて下表のスケジュール(スケジュール表は略)を策定しました。参加者(6 年生: 53 名, 旧課程 4 年生: 1 名)にアンケートを行って、講義資料として青本を使用することを決定しました。

#### 費用

- ・ 講習会費用(36 コマ×30,000 円+旅費 27,560 円×9 往復+9,500 円×9 泊) = 1,413,540 円
- ・ 模擬試験(54 名×(3,000 円×3 回+手数料) = 489,300 円)

総計: 1,902,840 円

学生から 20,000 円(/1 名)×53 名(薬学科 6 年生) + 29,000 円(/1 名)×1 名(旧課程薬科学科 4 年生) = 1,089,000 円を集め、残り 813,840 円(一人につき約 15,238 円(薬学科)もしくは約 6,171 円(旧課程薬科学科)相当)を学生後援会から援助いただきました。

これに加え、各学生は講義テキスト(青本: 26,800 円)を別途購入しました。

6-1. 平成 24 年度事業報告（続き）

2. 平成 24 年度活動報告（続き）

課外教育（TOEIC 支援）

A. 報告

1) TOEIC 講習会（2012 年 11 月 3 日（土）2 講師，入門／スコアアップ 2 クラス制で実施）

趣旨：創薬科学科学生の就職対策支援として TOEIC 講習会，学内 IP テストを企画・支援。  
薬学科学生も参加可能（講習会 5000 円の参加費，学内 IP テストは実費で参加）。

2012 年の支援内容のポイント：

- ：①スコアアップコースを導入し，2 クラス制での実施（改善点）。
- ②教科書の変更に伴う値上げがあった（入門コースから新採用）。
- ③1 クラス分の添削費の増額を薬学部長裁量経費からの従来の講師 1 名分の支援に加えることで②へ対応（増額は 26,000 円）。
- ④参加者は昨年度の 45 名から 64 名へと改善（①の効果）。

参加人数：（1）入門コース：創薬科学科 3 年 25 名，4 年 4 名，  
薬学科 3 年 5 名\*，4 年 1 名\* 計：35 名  
（2）スコアアップコース：創薬科学科 3 年 12 名，4 年 13 名，  
薬学科 3 年 4 名\*，計：29 名  
→ 合計 64 名（創薬科学科学生 54 名）  
\*薬学科学生 10 名は参加費 5000 円を払っての参加。

経費：

1 クラス 1 人の講師分+(教材費+事後学習のメール添削費):学生後援会で負担

		単価	計
講師(1名)	5 時間	¥21,000	¥105,000
教材費(入門コース)	36 名	¥3,000	¥108,000
教材費(スコアアップコース)	10 名	¥2,000	¥20,000
添削費	30 名	¥800	¥24,000
交通費	2 回	¥8,080	¥16,160
	合計		¥273,160

注1:前年度は¥247,160。

注2:ふたクラス目の講師代と交通費と添削は薬学部(学部長裁量経費)で負担(¥133,200 (前年度は¥121,160))。

注3:ホテル代は今回 1 名分のみ。後援会で負担(¥5,024)。(もう1名の講師はイーオン富山校から)

【講習会についての学生からの評価】

入門コース

レッスンに満足？	人数	0	0	1	9	20
	%	0%	0%	3%	30%	67%
レッスンの内容は理解できた？	人数	0	0	2	13	15
	%	0%	0%	7%	43%	50%
身につけている実感がある？	人数	0	0	10	15	5
	%	0%	0%	33%	50%	17%
教師に満足？	人数	0	0	1	9	20
	%	0%	0%	3%	30%	67%
さらに研修を続けたい？	人数	0	0	3	16	11
	%	0%	0%	10%	53%	37%

- ・今まで TOEIC に関して無関心だったが、ちょっとやる気でした！
- ・自分の苦手分野やこれからの勉強の仕方がわかりました。
- リスニングはもうちょっと続ければなんとかなりそうですが、読解はダメでした。まず単語量を増やして音読を頑張る事で初 TOEIC に向けて頑張りたいです。
- ・皆で勉強し、又、AEON の先生に教えていただく事でよい刺激になりました。
- ・楽しい授業をありがとうございました。
- ・TOEIC は一度だけ受けたことがありますが、全然しらなかったこと(特に手紙や E メールの問題に関して)もあったので、すぐた

- めになりました。音読がんばります！
- ・TOEIC を受験するかはわからないまま講習を受けてみました。とてもためになり、時間と金があればうけてみようかなと思いました。
- ・大学合格からは本格的な英語から遠のいていたので、今日のセミナーはとても勉強になりました。音読が楽しかったです！音読後は、本当にリスニングが遅く感じました！
- ・久しぶりに英語を話せた事がよかったと思う。
- ・音読したいと思います。
- ・各問題に関する対策法を学べた事はとても収穫だったと思う。
- ・お昼をはさむなどしてほしかった。

### スコアアップコース

レッスンに満足？	人数	0	0	3	16	8
	%	0%	0%	11%	59%	30%
レッスンの内容は理解できた？	人数	0	0	0	13	14
	%	0%	0%	7%	48%	52%
身につけている実感がある？	人数	0	0	7	14	6
	%	0%	0%	26%	52%	22%
教師に満足？	人数	0	0	1	8	18
	%	0%	0%	4%	30%	67%
さらに研修を続けたい？	人数	0	1	6	11	9
	%	0%	4%	22%	41%	33%

- ・時間が長いので分けた方がいいと感じた。
- ・13時から19時だったが、開始時間がもっと早くても良いので夕方に帰れるくらいの時間に設定してほしいです。レッスンの内容はとても満足しました！
- ・時間が長いので2日間に分けてやった方がいいかなと思います。
- ・全体的に分かりやすく、来て良かったと思う。ただ Part5,6 のところのテンポが遅めだったのでそこだけ良ければ完璧だった。祝日開催がちょっと苦しかったが、それでも来る価値はあると思う。
- ・英語の学習の他にも TOEIC 対策のワザも学べてよかった。速読練習をこれからやってみたいと思った。
- ・解答の説明をもう少ししてほしいかった。スキミング、スキミングが難しかった。
- ・音読が TOEIC に効果的であることを知れて良かったです。ありがとうございます。
- ・有意義でした！
- ・大切なポイントがわかりやすく、又、飽きないように息抜きをいれてくれるので疲れずにできました。

### 2) TOEIC IP テスト (2013年1月12日(土)実施)

参加人数：26名(支援した学生：創薬学科3年20名+4年6名=26名)

(注)申し込み28名、当日欠席2名

(参考)昨年度参加者数27名

経費：受験料4,040円×26名=105,040円

講習会受講者の成績(24名)：

	人数	平均	最小値	最大値	標準偏差
listening	24	262.9	170	435	64.2
reading	24	230.8	125	390	57.1
total	24	493.8	340	760	114.3

(参考1)過去の平均点：2011年平均511.2点、2010年平均510点、2009年平均503点

(参考2)受講しなかった2名の得点：平均377.5点(内訳：300点、445点)

## B. 課題と対策

- 1) (+) TOEIC-IP テストに受検した学生については支援としての十分な機能が期待できる。  
(理由)
  - ・ 講習会へのアンケート評価の高さ
  - ・ 学内 TOEIC テストの平均点
  - ・ 浸透しつつある学習意識
- 2) (+) スタンダードコースの開設は効果が見込める。参加人数もアップ。
- 3) (-) IP テスト参加率が改善されない。→ 自己学習をあまり厳しく要求せず、試験的な受験を奨励。  
→ 講座でアピール。
- 4) (+/-) 経費は学部からの支援が今後も見込めるかどうか的大事 (対応予定)。

## 6-1. 平成 24 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 24 年度活動報告（続き）

#### 課外教育（卒論発表会支援）

平成 25 年 2 月 21 日に、平成 24 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス体育館で行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習（事前学習）および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表・討論しました。例年通り、活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生（3 年次生を含む）により投票が行われ、創薬科学科生では最優秀発表賞に 1 名、優秀発表賞に 4 名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に 4 名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

## 6-1. 平成 24 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 24 年度活動報告（続き）

#### 課外活動（部活動・サークル活動の資金援助）

各課外活動団体から出された申請書に基づき、薬学部学生の在籍者数や申請内容を考慮し、配分額を調整し活動補助額を決定しました。各団体への補助金額は以下の通りです。

課外活動に対する学生後援会からの補助金一覧（補助金学：700,000 円）

<略>

## 6-1. 平成 24 年度事業報告（続き）

### 2. 平成 24 年度活動報告（続き）

#### 奨学資金援助

緊急に資金が必要と認められる学生に対し、援助のための奨学資金の貸与を行っています。

貸与を希望する学生が奨学援助資金貸与申請書の提出を行い、薬学部選出のクラス担当教官が学生後援会奨学援助資金担当委員と協議して貸与を決定します。平成 24 年度に新規の奨学資金貸与の申請はありませんでした。

### 2. 平成 24 年度活動報告（続き）

#### 広報

本学薬学部のホームページに学生後援会用の欄が設けられています。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成 24 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載すると共に、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

### 2. 平成 24 年度活動報告（続き）

#### 保護者懇談会

大学（杉谷キャンパス）祭開催期間に合わせ、平成 24 年 10 月 27 日（土）の午後 1 時半より保護者懇談会を附属病院臨床講義室 I にて開催しました。約 100 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。最初に中谷会長から御挨拶を頂戴し、引き続き副会長である今中薬学部長から薬学部の現状についてお話頂きました。また、本学保健管理センターカウンセラーの酒井先生から、不登校・無気力、カルト勧誘、デート DV などに関して、保護者への注意喚起が行われました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。

報告終了後、保護者の皆さまから寄せられたご質問（就職活動などについて）にお答えしました。懇談会終了後、新薬学部研究棟の見学を希望される方の見学会を行いました。



## 2. 平成 24 年度活動報告（続き）

### 入会状況

平成 24 年度の新規加入者は 81 名（新入生薬学科 39 名，新入生創薬科学科 36 名，在學生薬学科 3 名，在學生創薬科学科 2 名，旧課程 1 名）（3 月 1 日現在）でした。未入会の方には，本会の趣旨をお伝えし，ご入会をお願いしております。

以上の平成 24 年度事業について各担当理事から報告が行われた。

## 6-2. 平成 24 年度会計報告

以下、本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算報告と監査報告があった。

平成 24 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 平成 24 年 3 月 14 日 ～ 平成 25 年 2 月 28 日)

### 収支決算報告書

#### 表 1. 学生後援会会計収支計算表

<略>

#### 表 2-1. 緊急対策会計収支計算表 (財源の部)

<略>

#### 表 2-2. 緊急対策会計収支計算表 (積立の部)

<略>

#### 表 3. 奨学資金会計収支計算表

<略>

### 収支監査報告

<略>

### 6-3. 新役員の選出

#### 平成 25 年度役員を選出

役員名簿

#### 正会員理事

会 長：中谷 隆正 (薬学科)  
他 副会長 1名、監事 1名、理事 29名

#### 学内理事

副会長：	今中 常雄	(薬学部長)
庶 務：	久保 義行	(薬剤学)
入会・人事：	南部 寿則	(分子合成化学)
課外教育		
国家試験：	宮本 嘉明	(薬物治療)
TOEIC：	山崎 先也	(保健福祉)
TOEIC 講習補佐：	名執 基樹	(独語)
課外活動・奨学資金：	藤 秀人	(医療薬学)
会 計：	清水 貴浩	(薬物生理学)
広 報：	杉本 健士	(薬品製造)
監 事：	杉本 健士	(薬品製造)

会長（留任）、新副会長が承認され、新学会理事、新学内理事が承認された。

## 6-4. 平成 25 年度事業予定（案）審議

### 平成 25 年度事業計画案

#### 1. 課外教育援助〔国家試験対策支援（薬学科 6 年生対象）〕

平成 25 年度は、新カリキュラム導入後の第 3 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

- |          |        |                    |
|----------|--------|--------------------|
| ・平成 25 年 | 5 月予定  | 国家試験についてのガイダンス     |
| ・        | 9 月予定  | セレクト模試（薬学ゼミナール）    |
| ・        | 11 月以降 | 予備校による講習会          |
| ・        | 11 月予定 | 全国統一模擬試験Ⅰ（薬学ゼミナール） |
| ・        | 12 月予定 | 全国統一模擬試験Ⅱ（薬学ゼミナール） |
| ・平成 26 年 | 1 月予定  | 黒本模擬試験（日本医薬アカデミー）  |
| ・        | 2 月予定  | 全国統一模擬試験Ⅲ（薬学ゼミナール） |
| ・        | 3 月見込  | 第 99 回薬剤師国家試験      |

平成24年度の国家試験は、前年度（新カリキュラム導入後、初めての国家試験）と比較して、全体的に難易度が高くなり、新傾向の問題が増加しました。物理・化学と生物、生物と薬理など科目の壁を越えて、全ての科目を医療に繋げた問題が多くなりました。さらに、式やグラフといった実験結果などが与えられ、そこから正解を導き出す「考える力」を試す問題や、医療現場でのより実践的な問題（問題解決能力を問う）が増えました。今後もこの傾向はしばらく続くと予想されております。

平成25年度の国家試験対策は、平成24年度の対策（講習会および模擬試験）を基本に、講習会では今後の傾向に沿った内容を追加するなどの支援を行う予定です。さらに、試験情報等も随時、受験生へ伝えていく予定です。

## 6-4. 平成 25 年度事業予定 (案) 審議(続き)

### 平成 25 年度事業計画案 (続き)

#### 1. 課外教育援助[TOEIC 支援]

平成 24 年度では、以下の形で TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援を行いたいと考えています。

##### A. 概要

これまでの以下の枠組みを踏襲

1. 創薬科学科の学生が支援対象（講習受講費と 1 回分の教科書代，キャンパステスト 1 回分の支援）。それ以外の薬系学生（3 年次以降の学部学生，大学院生）が講習会に参加を希望する場合には，参加費として 5000 円を求める（教科書代込み）（キャンパステストは自己負担での参加が可能）。
2. 創薬科学科 3 年生以降でも講習会受講を後援会が支援する（創薬科学科については受講料を免除。繰り返し受講を含む。ただし，2 度目の場合は，教科書代は個人負担となる）。
3. キャンパステストは事情により受験できないケースも考え，創薬科学科 3 年次ないし 4 年次いずれかにおいて受験する分を支援するものとする（いずれも 1 月実施の試験 1 回分が対象）。
4. オリエンテーション等で，3 年次からの英語学習の意義と後援会の TOEIC 支援活動について説明し，英語学習意識の浸透をはかる。

##### B. 留意点

#### 1. TOEIC 講習会

継続し 2 クラス制度で実施。

(1) 入門コース：リスニングを中心に TOEIC500 点台を目指す学習法を学ぶ。

(2) スコアアップコース：リーディング対策なども加え，TOEIC700 点台を目指す学習法を学ぶ。

その際：

- ・1 クラス分の講師代の学部からの支援を依頼（学部長裁量経費等）。
- ・コース内容の詳細については，今回，平均点が前年を下回ったこともあり，依頼先の講師と連絡を取りながら検討。

#### 2. IP テスト

参加の利点を 4 月の学年別オリエンテーション，TOEIC 講習会内（講師に依頼），講座への告知で徹底。特に TOEIC 対策の出発点としての IP テストの位置づけについて理解を浸透させる。

#### 6-4. 平成 25 年度事業予定（案）審議（続き）

##### 平成 25 年度事業計画案（続き）

#### 2. 課外活動援助

例年通り、各課外活動団体からの申請があれば、薬学部学生の所属数に基づき、既定の範囲内で援助を行う。

#### 3. 奨学資金援助

未返還者への督促を行うとともに、貸与希望者に返還計画の遵守を徹底する。

#### 4. 広報活動

薬学部ホームページを用いて、後援会活動の報告等を活発に行う。

#### 5. 保護者懇談会の開催

10 月 26 日（土）（杉谷（医薬系）キャンパス祭開催時）に開催予定。多数の保護者の方の参加をお願いします。

以上、平成 25 年度事業計画が説明され、承認された。

6-5. 平成 25 年度予算（案）審議

表 4. 学生後援会会計予算（案）

<略>

表 5. 緊急対策会計（積立の部）予算（案）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算（案）

<略>

以上、予算案が承認された。

## 6-6. 会則の改正（案）審議

### 富山大学薬学部学生後援会会則

第1条 本会は、富山大学薬学部学生後援会とする。

第2条 本会の事務局は、富山市杉谷 2630 番地、富山大学薬学部内に置く。

第3条 本会は、富山大学薬学部学生の課外教育、課外活動の援助及び奨学の援助に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う

- (1) 学生の課外教育に関する援助
- (2) 学生の課外活動に関する援助
- (3) 学生に対する奨学資金援助
- (4) 学生の緊急時に関する援助を行い、緊急対策会計から支出する。
- (5) その他

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 富山大学薬学部にて在学する学生の保護者または保証人で、所定の会費（薬学科生は6年間分 30,000 円、創薬科学科生は4年間分 20,000 円）を入学時に納入したもの
- (2) 教職員会員 富山大学薬学部にて勤務する教職員で、年会費 5,000 円を納入したもの
- (3) 特別会員 本会の趣旨に賛同し、特別な寄付を行ったもの

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名
- (5) 顧問 若干名

第7条 役員を選出は、次の通りとする。

- (1) 会長は、理事会において理事の互選により正会員の中から選出する。
- (2) 副会長は、理事会において理事の互選により正会員の中から1名、教職員会員の中から1名を選出する。
- (3) 理事は、総会において正会員と教職員会員の中から選出する。
- (4) 監事は、総会において正会員の中から1名、教職員会員の中から1名を選出する。
- (5) 顧問は、理事会の推薦により、会長が依嘱する。

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、会務を掌理し、本会を代表する。
- (2) 副会長は、会務を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 理事は、理事会を組織し、会務の運営にあたる。
- (4) 監事は、本会の会務並びに収支決算の監査を行う。
- (5) 顧問は、会長の諮問に応じ、意見を述べるができる。

第9条 顧問を除く役員の仕事は2年とし、~~一回に限り再任することができる。~~再任を妨げない。



第10条 会長は、本会の事務を処理するための者を依頼することができる。

第11条 会議は、総会及び理事会とする。

(1) 本会の構成員は正会員及び教職員会員とし、毎年度始めに総会を開くものとする。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時総会を開くことができる。総会の議決は出席者の多数決による。

(2) 理事会は、会長が必要に応じ、招集するものとする。

(3) 第5条第3号の会員について、会長が必要とみとめたときは、会議に招集することができる。

第12条 総会で行う事項は、次のとおりとする。

(1) 収入・支出予算等の議決及び決算の承認

(2) 会務及び事業報告

(3) 会則の改廃

(4) その他

第13条 理事会は、前条の各号に掲げる事項について企画立案及び審議にあたる。

第14条 事務局に関する事項は、理事会で定める。

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第16条 本会の経費は、会員の会費及び寄付金をもって充てる。

第17条 既納の会費等は返納しないものとする。

附則 この会則の施行日現在在学する学生の父母または保証人については、第5条第1項の規定にかかわらず残りの在学年数に5,000円を乗じた額を納入したものを正会員とする。

附則 この改正は平成15年4月10日から施行する。

附則 この改正は平成17年10月1日から施行する。

附則 この改正は平成18年4月1日から施行する。

附則 この改正は平成25年4月5日から施行する。

以上、会則の改正（案）が承認された。

## 7. その他

### 7-1. 学部生，大学院生の研究活動

学会での受賞等

- ・ 学生ベスト発表賞（日本生化学会北陸支部第 30 回記念大会 2012 年 5 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 124 回例会 2012 年 11 月）
- ・ 学生講演賞（日本化学会第 92 回春季年会 2012 年 3 月）
- ・ Poster Award (Symposium on Molecular Chirality ASIA 2012 2012 年 5 月)
- ・ ポスター賞（第 23 回基礎有機化学討論会 2012 年 9 月）
- ・ プレゼンテーション賞（平成 24 年度有機合成北陸セミナー2012 年 10 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 124 回例会 2012 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（第 13 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2012 年 6 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 124 回例会）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 124 回例会 2012 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 124 回例会 2012 年 11 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会第 132 年会 2012 年 3 月）
- ・ 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部第 124 回例会 2012 年 11 月）
- ・ 優秀演題賞（第 14 回日本神経消化器病学会 2012 年 11 月）

その他、ニュージーランド英語研修についての案内があった。また、総会終了後に自由討論を行った。成績表の確認システムや薬剤師国家試験対策講義の開講時期についての質問があり、今中薬学部長よりご回答いただいた。

また、今回は薬学部改修工事の影響で保護者の方の学内見学が見送りとなったが、その代わりに大学の学部・大学院パンフレットやトムズプレスが配布された。